



IAATO バードウォッチング ガイドライン

陸上および氷上での鳥観察の一般的なルール

- ・ 陸上、氷上、海上、空中を問わず、船舶、小型ボート¹、その他の移動手段は、野生動物を動揺させない方法で使用してください。
- ・ 急な動きを避け、騒音は最小限に抑えてください。
- ・ 鳥の行動に目に見える変化があったら、ゆっくりと離れてください。これは動揺している兆候である可能性があります。
- ・ 常に動物に道を譲りましょう。
- ・ 野生動物に決して餌を与えないでください。
- ・ 野生動物との交流を促したり、触ったり、触らせたりしないでください。
- ・ 衣服、履物、器具については、常に適切な防疫対策の手順に従ってください。
- ・ どのような場合であっても、鳥を惹きつける「撒き餌」(魚や魚油の使用)を行わないでください。

推奨する接近距離

陸上または氷上の鳥とは、少なくとも5m / 15フィート²の距離をとってください²。

動物に接近したり、観察したりするときは、動物が人間の存在に動揺している兆候を示していないことを前提に、必ず定められた距離をおいてください。許可や認可の内容によっては、より長い距離を求められる場合があることに注意してください。より近い距離で交流できるかどうかは、動物の状態によります。

種/ライフステージ	保持すべき最小距離(m/フィート)
巣作り中の海鳥	5m / 15フィート
巣作り中のオオフルマカモメ	25m / 75フィート
巣作り中のアホウドリ	10m / 30フィート
威嚇しているアホウドリ	25m / 75フィート
換羽中のペンギン(個体および群れ)	5m / 15フィート

海岸の鳥を見るとき



- ・ 鳥の行動に目に見える変化があったら、ゆっくりと離れてください。
- ・ ペンギンが水域に出入りするための通り道や場所を塞がないようにしてください。付近にいる他の訪問者とも協力してください。
- ・ 陸地が雪と氷に覆われているときは、「杭穴」を作らないようにしてください。ペンギンがはまり込んでしまう可能性があります。雪の中では同じ通り道を使用するようにしてください。穴が開いてしまった場合は、慎重に埋めるか、幅を広げたり、傾斜をつけたりしてください。
- ・ 生息地の外側に留まり、安全な距離から観察してください。
- ・ 草むらでは鳥が巣作りをしている可能性があるため注意してください。
- ・ 好奇心旺盛な動物(特にペンギン)は、人に近づいてくることがあります。必要最小限の距離(5m以上)を保ってください。後方を確認して、ゆっくりと後ずさりができるようにしてください。
- ・ 鳥が急降下を始めたら、子供あるいは巣を守っている可能性があります。元来た場所に後退してください。卵や幼鳥が隠れている場合があるため、注意してください。
- ・ 「見栄えのいい」写真を撮るために、野生動物または野生植物に干渉する行為を絶対にしないでください。フラッシュでの写真撮影は、いかなる場合でも決して行わないでください。
- ・ 近づくために「自撮り棒」などの機器を使用しないでください。

水上の鳥の群れ

時には海鳥の群れを見ることができます。たとえば、たくさんの鳥が水面で摂食したり、水中に飛び込んだり、休憩したり、水浴びしたりする様子を見られることがあります。

- ・ 鳥たちの群れの端に留まり、邪魔しないようにしてください。
- ・ 船とヨットは、少なくとも100m/300フィート離れた場所に留まってください。
- ・ 小型ボートや手こぎボートは、少なくとも30m/90フィート離れている必要があります。

流氷の上の鳥



鳥は、休憩する、または天敵を避けるために流氷の上にいることがよくあります。

- ・ 船とヨットは、流氷上の鳥の群れから少なくとも100m / 300フィート離れた場所に留まるようにしてください。
- ・ 小型ボートや人力の手こぎボートは、流氷上の鳥類から少なくとも5~15m離れている必要があります。

ペンギンの小型船への乗り込み

まれに、ペンギンが小型ボートに乗り上げて、閉じ込められてしまうことがあります。乗員は、ペンギンが自分で水中に戻って行くのを静かに待ってください。通常、手助けする必要はありません。手助けが必要な場合は、スタッフが手順に従って行います。

WWW.IAATO.ORG

より詳細な情報については、IAATOの「IAATO バードウォッチングガイドライン」のドキュメントをご参照ください。

¹本文書では、「小型のボート」をゾディアック型の空気注入ボートとして定義し、複合または半複合のゴムボート、あるいは海岸での見学に使用される同様の上陸用小型船を指します。

² 南極訪問者のための一般的なガイドライン、南極条約協議国会議 決議4(2021年)、附属書1

